

中国株ウィークリーレポート

2020/3/2

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	19年末株価
NYダウ	25,409.36	-357.28	-1.39	-12.36	-10.96	28,538.44
NASDAQ	8,567.37	0.89	0.01	-10.54	-4.52	8,972.60
日経225	21,142.96	-805.27	-3.67	-9.59	-10.63	23,656.62
上海総合	2,880.30	-111.03	-3.71	-5.24	-5.57	3,050.12
滬深300(CSI300)	3,940.05	-144.83	-3.55	-5.05	-3.82	4,096.58
ハンセン	26,129.93	-648.69	-2.42	-4.32	-7.31	28,189.75
中国企業	10,302.36	-290.75	-2.74	-4.53	-7.75	11,168.06

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は4.3%安と大幅続落、上海総合指数は5.2%安

香港市場ではハンセン指数が週間で4.3%安と大幅に続落。新型コロナウイルスの感染拡大で世界経済への影響に対する警戒感が強まった。中国当局による景気対策への期待や業績発表を受けた個別銘柄への物色が相場を支える場面もみられたが、世界的な株安を受けて市場心理が悪化。香港市場でもリスクオフの動きが強まった。本土市場では上海総合指数が週間で5.2%安と大幅に3週ぶりに反落。新型肺炎の感染が世界的な拡大を見せるなか、世界景気への警戒感から売り優勢の展開となった。

今週の展望:香港市場は神経質な展開か、海外での新型肺炎感染拡大に警戒感

香港市場は神経質な展開が予想される。中国で新型肺炎の新規感染者が減少する一方、世界で新型肺炎の感染が拡大しており、引き続き世界的な景気の停滞が警戒されそうだ。中国で2月の製造業PMIが大幅に悪化しており、2日に発表される米ISM製造業景況指数も大きく悪化していた場合にはリスク回避の動きが強まる公算が大きい。一方で各国の金融緩和や景気対策への期待は一定の下支え材料となりそうだ。本土市場も景気の先行きに対する懸念と金融緩和や景気対策への期待で神経質な展開となることが予想される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

順位	銘柄名	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1	華潤置地 (01109)	35.95	2.28
2	中国生物製薬 (01177)	11.28	0.00
3	新世界発展 (00017)	10.02	-0.20
4	中電控股 (00002)	81.80	-0.24
5	ハンセン銀行 (00011)	162.50	-0.43
6	ホンコン・ファイナガス (00003)	15.00	-0.53
7	恒基兆業地産 (00012)	35.75	-0.83
8	香港鐵路 (00066)	43.85	-1.35
9	信和置業 (00083)	10.60	-1.49
10	新鴻基地産 (00016)	110.80	-1.51

▼騰落率下位

順位	銘柄名	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1	CNOOC (00883)	10.68	-12.32
2	九龍倉置業地産 (01997)	35.35	-12.06
3	ペトロファイナ (00857)	3.02	-10.65
4	創科実業 (00669)	63.05	-9.67
5	瑞声科技 (02018)	51.05	-9.57
6	吉利汽車 (00175)	13.86	-8.21
7	銀河娛樂 (00027)	51.45	-8.12
8	ファイナ・ユコム (00762)	6.15	-8.07
9	申洲国際集団 (02313)	95.75	-7.93
10	ファイナ・モバイル (00941)	61.30	-7.26

▼今週の主なイベント

- 3月2日(月)
- 【米国】ISM製造業景況指数(2月)
- 3月6日(金)
- 【米国】雇用統計(2月)
- 3月7日(土)
- 【中国】貿易統計(1-2月)

▼今週の期待材料

- ◆中国国内の新型肺炎新規感染者が減少傾向、2月19日以降は1日当たりの新規感染者が1000人以下で推移
- ◆パウエルFRB議長が次回FOMCでの利下げを示唆、利下げ期待が相場の下支え材料になる可能性も
- ◆中国財政部が減税措置を検討、2月24日会議で地方政府債の発行枠拡大など新型肺炎対策を決定

▼今週の懸念材料

- ◆新型肺炎の感染が世界50カ国以上に拡大、WHOはパンデミックに発展する可能性があると警告
- ◆中国の2月の製造業PMIは過去最低の35.7に悪化、非製造業PMIも29.6と過去最低を更新
- ◆IMFが世界経済の成長見通しを4月に再び下方修正する可能性を示唆、世界経済の先行きに不透明感

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 創科実業 (00669) : 4日に19年12月本決算を発表、市場予想は14%増益
- ☆ スカイワース (00751) : 19年12月本決算は経営効率改善で実質20%増益の見通し
- ☆ 中国鉄建 (01186) : ナイジェリアで鉄道プロジェクトを受注、総額10億米ドル
- ☆ 中国交通建設 (01800) : 19年の新規受注が8%増加、主力のインフラ建設は11%増
- ☆ 緑城中国 (03900) : プロジェクト管理子会社が分離上場、香港証取に申請提出
- ★ 香港鐵路 (00066) : 5日に19年12月本決算を発表、市場予想は32%減益
- ★ レノボグループ (00992) : 空売り業者が決算の不正疑惑を指摘、レノボ側は否定
- ★ 九龍倉置業地産 (01997) : 5日に19年12月本決算を発表、市場予想は46%減益
- ★ 理文造紙 (02314) : 5日に19年12月本決算を発表、市場予想は31%減益
- ★ 華潤医薬集団 (03320) : 19年12月本決算は28-33%減益の見通し

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。